

結核を減らすために



下関市の結核の現状

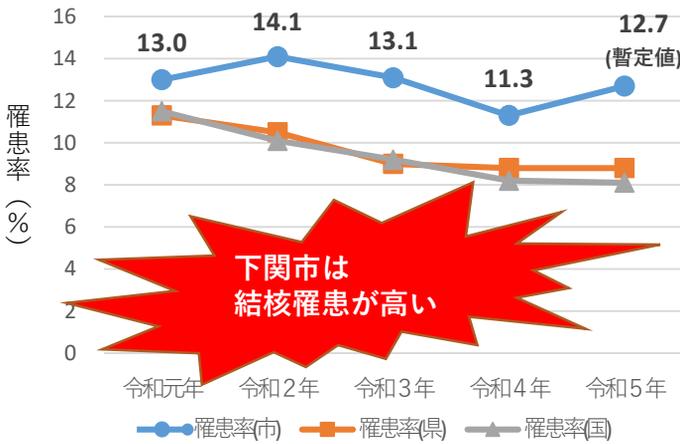


～結核は過去の病ではありません！～

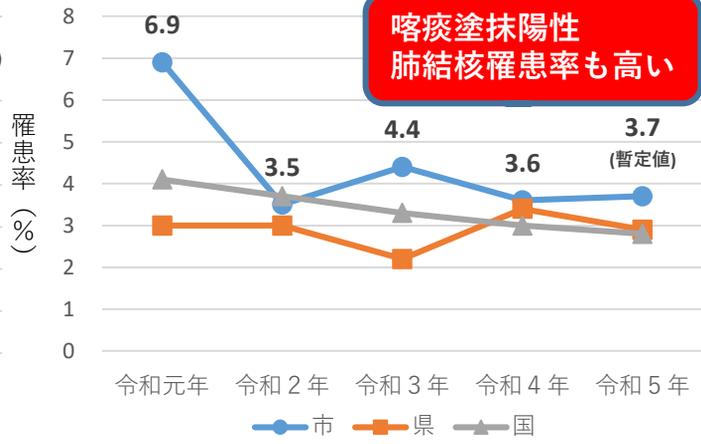
山口県内では年間100人以上、下関市内では年間約40人前後の新規の結核患者が発生しています。下関市における結核罹患率*1および、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率*2は全国や山口県と比較すると、高い状況にあります。

(※1 新登録結核患者数 ÷ 人口 × 10万) (※2 喀痰塗抹陽性肺結核患者 ÷ 人口 × 10万)
 * 喀痰塗抹陽性とは・・・喀痰の塗抹染色検査で陽性と判定されたもの = 排菌者

結核罹患率の年次推移



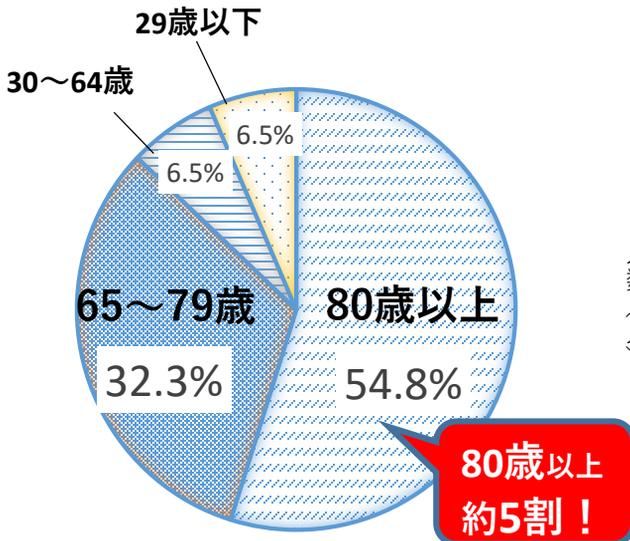
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の年次推移



～80歳以上に多い結核！～



下関市で令和5年に発生した結核患者の年齢構成は、65歳以上が8割を占めています。特に、80歳以上の高齢者が多く、患者の約半数を占めています。

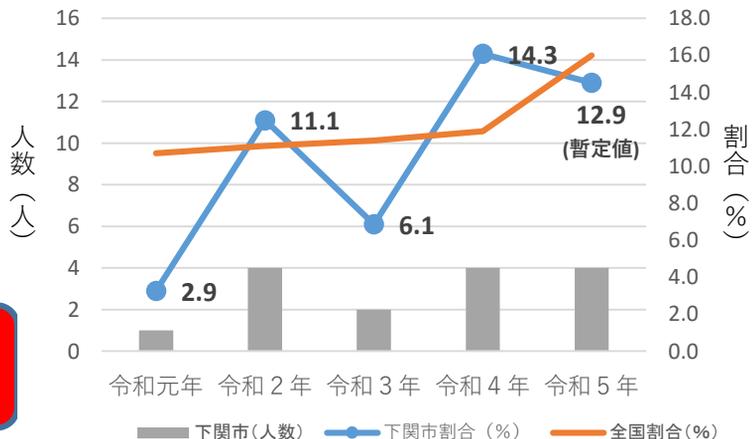


～外国出生者の結核～



新登録結核患者のうち外国出生者の割合は全国的に増加しており、下関市では、1割を超えています。特に、20～30歳代の新登録結核患者のうち外国出生者の割合が高い状況です。罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発症するケースが見受けられます。

新登録結核患者に占める外国出生者の年次推移



学校及び事業主等の皆様へお願いしたいこと



シールちゃん

～結核は早期発見が大切！！～

結核は、発見が遅れることで、感染拡大につながる場合があります。

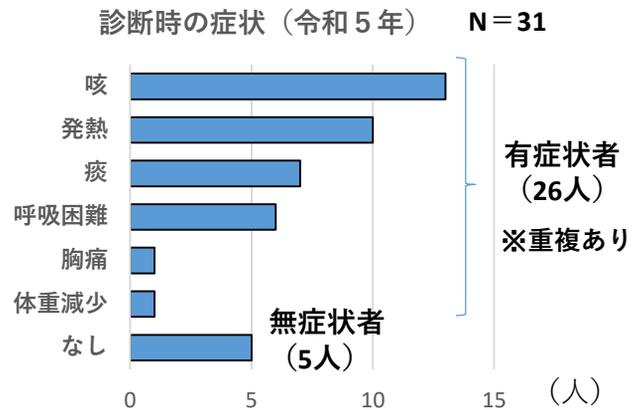
早い段階（排菌前）で結核の発病が発見出来れば、人への感染を防ぐことができます。

①有症状時の受診の勧奨をお願い致します。

結核を発病すると、咳や痰、発熱など風邪によく似た症状が出ると言われていますが、下関市においても同様の傾向です。

結核の高蔓延国※出生の方は、結核の既感染者も多いと言われています。日頃から、学生（実習生や労働者等）の体調確認をしていただき、咳や微熱が2週間以上続くなど体調が悪そうなときは、受診の勧奨をお願い致します。

※フィリピン、ベトナム、インドネシア、ネパール、中国、ミャンマー等



②健康診断（胸部X線検査）の受診をお願い致します。

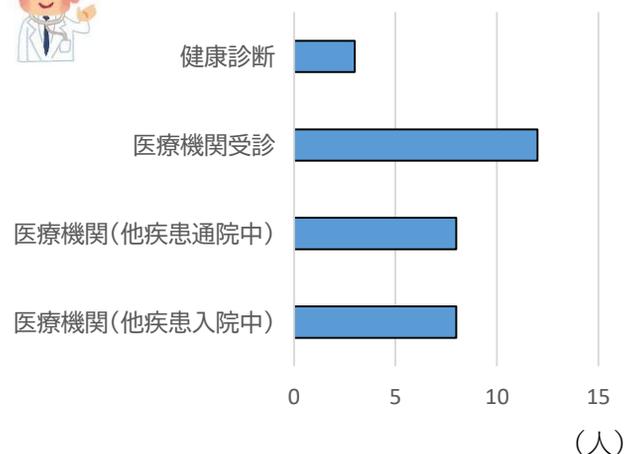
下関市における令和5年の患者発見状況は、健康診断（胸部X線検査）が全体の約1割を占めており、健康診断（胸部X線検査）の受診も結核患者の発見には大切です。

感染症法により、結核を発病した場合感染を蔓延させる恐れが高い集団・職種を対象に、年に1回結核定期健康診断を受けることが義務付けられています。

結核定期健康診断が義務付けられている学校や事業所等は必ず健康診断（胸部X線検査）の受診及び市への報告をお願い致します。



患者発見方法（令和5年） N=31



③精密検査受診の勧奨をお願い致します。

下関市における令和5年の結核定期健康診断対象機関において、精密検査を受診されている方が多数ですが、中には受診されていない方もいます。精密検査を受診しない、又は受診の遅れにより結核の発見が遅れることで、集団感染に繋がる可能性があります。

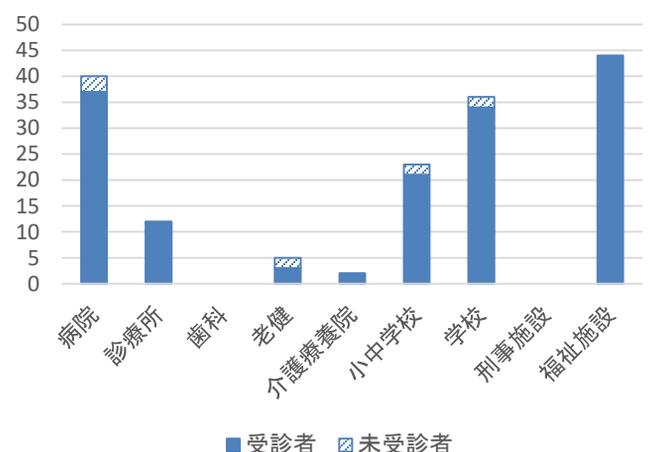
1. 精密検査対象者の学生（実習生や労働者等）には、速やかに結果をご返却下さい。

※特に、外国生まれの方は、日本語で日常会話が出来ても、漢字で書かれた健診結果を読めないこともあるため、健診結果を分かりやすく伝えていただくと助かります。

2. 精密検査対象者の学生（実習生や労働者等）に、速やかな医療機関受診の勧奨をお願い致します。

※外国生まれの方で、医療機関の予約が自身で難しい方には、予約のサポートをしていただくと助かります。

定期健康診断対象機関における精密検査対象者数（令和5年度）



★公益財団法人結核予防会「結核研究所」のホームページに外国人向けの資料等がありますので、ご活用下さい